



財団ニュースレター

第22号

2012年6月

発行：公益財団法人スペイン舞踊振興MARUWA財団 〒105-0014 東京都港区芝3-16-13 MARUWAビル 2F
TEL：03-5419-6513 FAX：03-5419-6514 URL：www.mwf.or.jp E-mail：info@mwf.or.jp

東京に財団の新スタジオがオープン!

東京に財団の新スタジオがオープンしました。ここにその詳細についてお知らせさせていただきます。

●新スタジオの名称は“CASA DEL ARTE”

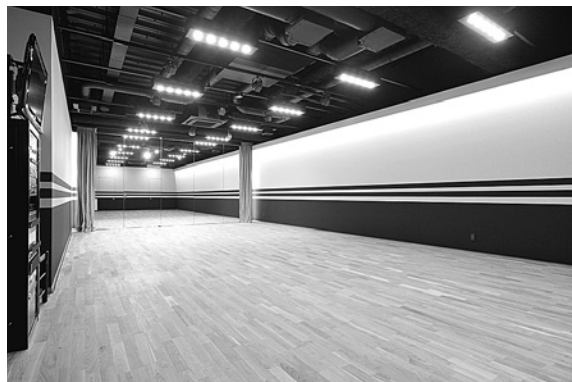
去る5月、念願だった財団の東京スタジオがオープンいたしました。

場所は、東京タワーのほど近くに位置する、東京は港区芝の MARUWA ビル内。地下鉄大江戸線「赤羽橋」駅から徒歩4分、都営三田線「芝公園」駅から徒歩6分、JR山手線の「田町」駅からも歩いて12分ほどという、アクセス至便な立地です。

1階に設置された、ワンフロア74.64m²の広さのスタジオには、音響・照明設備に加え、収納式の舞台も完備されており、各種ダンス・レッスンのほか、企画ライブなどにも使用可能です。また、2階には男女別更衣室や、スペインの調度品をしつらえたサロン等が設けられており、休憩時間中もゆったりとおくつろぎいただける作りとなっております。

スタジオ名は、芸術活動に携わる方々の拠点として、末永くご愛顧いただけるスペースとなるようにという願いを込めて、スペイン語で「アートハウス」を意味する“CASA DEL ARTE”（カサ・デル・アルテ）と名づけました。

財団といたしましても、今後、一流講師陣を配してのワークショップや各種講座等、様々な用途に活用していく予定です。



オープンした1階の新スタジオ。鏡の奥のスペースには収納式のステージが保管されている。



披露パーティー当日、ギターアンサンブルの演奏会場となった2階サロンは多くの人々で賑わった。

また、原則として財団主催のイベントや長期利用希望者の方の使用が優先となりますが、スタジオの一般貸しも行っていく予定です。皆さまにも積極的にご活用いただければ幸いです。

なお、今回のスタジオ完成に伴い、財団事務所も東京・中野区から MARUWA ビルの2階に移転いたしましたので、ここに合わせてご報告させていただきます。

●盛り上がったスタジオ・オープニング・イベント

去る5月25日(金)には、関係者を招いてスタジオのオープン披露パーティーが開催されました。

財団の神戸誠理事長、及び小松原庸子常務理事によるあいさつの後、しばしの歓談を経て、2階サロンにてギターとピアノのアンサンブルによる演奏会がおこなわれ、クラシック・ギタリスト第一人者である財団評議員の莊村清志氏が、スタジオのオープンを祝して、「アルハンブラの思い出」や「アランフェス協奏曲2楽章」といった曲を披露してくださいました。

さらに、スタジオのこけら落としとして、1階スタジオにて、CAF フラメンコ・コンクール入賞者である、北原志穂さん（第4回優勝）、田村陽子さん（第6回優勝）、田尻希絵さん（第4回準優勝、第6回3位）、正木清香さん（第

5回、第6回ファイナリスト)とスペイン人舞踊手のファン・オガジャ氏、カンタールのダビ・パロマル氏、ギタリストのリカルド・リベラ氏の共演による舞台が催されました。

舞台は、北原さんのアレグリアス、田尻さんと正木さんのパレハによるソレア・ボル・ブレリア、田村さんのシギリージャと続き、4人全員による華やかなブレリアへ。ダビ・パロマル氏がソロでタラントを聴かせた後、最後に真打ちとしてファン・オガジャ氏が颯爽と舞台に登場する、という少々サプライズ的な構成で、晴れの日の締めを飾っていただきました。

●オープニング記念特別講習会も開催

5月26日(土)～31日(木)にかけての6日間、スタジオのオープニングを記念した特別講習会も開催されました。

講師は、今回、スタジオのこけら落としライブにご出演くださったファン・オガジャ氏。告知期間があまりなかったため、昼クラス、夜クラスとも参加者はそれほど多くありませんでしたが、その分、参加してくださった方々には、オープンしたてのスタジオの感触をじっくり味わっていただけたのではないかと思います。

ちなみに、プロ向け昼クラスではシギリージャ、中級者向け夜クラスではタラントを振付けていただいたのですが、昼クラス終了後に開催した、ダビ・パロマル氏による無料のカンテ講座も好評で、皆さん、アレグリアスのレッスンを、大変楽しそうに受けていらっしゃいました。

財団設立から10年という節目を経て、東京の地に念願の専用スタジオを設けることができ、私どもも感慨深い思いでいっぱいです。オープン披露パーティーの挨拶で小松原庸子常任理事も語っていましたが、スペイン舞踊というこの素晴らしい芸術を日本に根づかせ、発展させていくために、このスタジオを拠点とし、若き芸術家に対する育成・支援を、幅広い側面からおこなっていきたいと考えてい



スタジオのこけら落としライブにてポーズを決める面々。

ます。

その一助として、スタジオを活用したレッスンや講座を定期的におこなっていこうと、現在、構想を練っているところです。

こうした講習会等の案内に関しては、随時ホームページにて告知していく予定ですので、今回参加できなかった皆さんも、是非、またの機会にご期待くださればと思います。

●スタジオ・レンタルも7月より開始予定

先にも述べましたが、財団では、準備が整い次第、スタジオの一般貸しもおこなっていく予定です。広さもそれなりにありますので、レッスンや公演のリハーサル、企画ライブの会場等にご活用いただければと思っております。

料金は利用形態により、1時間3,500円から最大で5万円を予定しております。スタジオの予約方法や料金の詳細につきましては、財団事務局までお問合せください。

なお、ご予約いただければスタジオの見学も随時可能ですので、ご興味のある方は、是非一度、実際にスタジオをご覧いただければと思います。

スペイン研修報告

第6回 CAF フラメンコ・コンクールで準優勝し、スペインで研修をおこなってきた梶山彩沙さんよりレポートが届きました。



梶山 彩沙

今回は2度に分けてスペイン研修へ行かせて頂きました。1度目はセビーージャにて、ピラール・オガジャ、アデラ・カンバージョに師事しました。ピリのクラスは初めてでしたが、初級のブレリアクラスではブレリアのコンパスの動きや様々なレトラの知識、中級のタンゴ、上級のアレグリアスでは彼女の持つフラメンコな部分とモデルナな動きを勉強し、どのクラスでも沢山の事を持ち帰る事ができました。2度目はヘレスで毎年行われる Festival de Jerezへ。ベレン・マジャのカーニャ con パタ・デ・コーラとマントンとマヌエル・リニヤンのハレオを受講しながら毎晩テアトロへ行き、第一線で活躍する数々のアルティスタの素晴らしい公演を鑑賞しました。どちらもそんなには長くない期間でしたが、中身のギュッと詰まった研修になり、今回もまた沢山のお勉強をさせて頂きました。

今回見て来た沢山の公演やクラスからヒントをもらい、2年以内を目安に自分の作品を作りたいと思っています。まだまだ頭の中でイメージをしている段階ですが、少しずつでも形にしていけたら…と思っています。簡単なことではありませんが、皆様のおちからをお貸し頂きながら、自分の新たな一歩を踏み出して参ります。今後とも宜しくお願い致します。

平成23年度 助成作品 報告

平成23年度の助成作品を上演された、鈴木敬子さん、谷めぐみさんより、公演に関するご感想をいただきました。

鈴木敬子フラメンコライブ Vol.12

鈴木 敬子

2011年に入ったばかりの頃、東京・大阪・新潟でのライブツアーを開催することを決めました。東京では3年ぶり、そして私の出身地である新潟では10年ぶりという、私にとってとても意味のある感慨深い公演ツアーです。

助成していただくことが決まってまもなく震災が起こり、周りの状況や私自身も不安定になり、開催を悩んだ時期もありました。けれど今だからこそ観に来ていただく方に元気になってもらいたい！今だからこそ開催すべきだ！と思い直し、苦しいながらも再び準備にかかりました。

今回のライブは“フラメンコは音楽だ！”をテーマにジャズをはじめ、あらゆる分野で活躍しているアーティストたちと共演いたしました。自分自身の今まで築いてきたフラメンコを共演者の方々と最大限に活かしあえた舞台だったと思います。終演後のお客様の爽やかな笑顔からこのライブを催せて良かったと感じました。そしてこれまでフラメンコを踊り続けることができた喜びを感じました。今回の公演にご支援をいただいた MARUWA 財団およびご協力していただいた多くの皆さまに心より感謝いたします。



(撮影者：大森 有起)



(撮影者：藤本 史昭)

絆 谷めぐみソプラノリサイタル

～ J. ロドリゴ生誕110年によせて～

谷 めぐみ

まずはじめに、拙第21回リサイタルに対するスペイン舞踊振興 MARUWA 財団のご助成に感謝申し上げます。東日本大震災直後の混乱のなか、助成のご決定をいただき、大変勇気づけられました。

大震災を受けて、プログラム前半は、J.Turina, E.Granados, F.M.Álvarez, F.Mompou, X.Montsalvatge, F.Tárrega の作品を歌い、追悼、鎮魂、安寧への願い、祈りを捧げさせていただきました。4月の P.Domingo 来日、私のバルセロナの恩師の作品「Sakura sakura」等、スペインと日本の絆をご紹介できたことも意義深いことでした。後半はガラリと雰囲気を変え、今年生誕110年を迎えた J.Rodrigo の作品をお楽しみいただきました。日本ではほとんど演奏されない作

品も多く含まれていましたが、豊かな音色、典雅な響き、抒情性、あふれる人情の機微等々、Rodrigo 独特の世界にお客様は大満足。スペイン音楽の多彩な魅力をご披露することができました。「祈り」と「J.Rodrigo 生誕110年」、このまったく異なる二つのテーマを見事に調和、融合、昇華させるスペイン音楽の懐の深さ。あらためて、素晴らしい！です。これからも多くの方々に魅力を伝え続けていきたいと願っています。

平成24年度 助成作品 決定

応募者名・作品名	助成金額	公演予定日
NS フラメンコ企画 東北フラメンコフェスティバル 2012	130万円	'12年10月12日～14日 於福島テルサ
谷淑江 谷淑江スペイン舞踊20周年記念リサイタル 「美と幻想のスペイン」	80万円	'12年11月10日 於草月ホール
らす・しゃちほこす 裸の女たち	50万円	'12年9月29日 於名古屋市芸術創造センター
益田正洋 ! スペイン! ギターと絵画の交わるころ in Tokyo part 2 「バルセロナ・コネクション」	20万円	'12年8月19日 於東京オペラシティ リサイタルホール
石塚隆充 石塚隆充 カンテ・ライブ	20万円	'12年10月 (予定) 於シアター風姿花伝シアター (東京) 於 Umeda AKASO (大阪) 於ブルーノート名古屋

フラメンコ・ワークショップ in 名古屋 開講のお知らせ

毎年恒例の夏のフラメンコ・ワークショップが、今年も名古屋にて開講されます。今回は、東京の特別講習会で好評を博した、ファン・オガジャ氏が講師を務めてくださることになりました。今年も混雑が予想されますので、参加ご希望の方は、お早めにお申込みください。



新スタジオのライブでも観客を魅了したオガジャ氏。その熱き指導に、請うご期待！

■日程 2012年7月31日(火)～8月5日(日)
昼クラス (シギリージャ) 11:30～13:00
夜クラス (タラント) 18:30～20:00
(土・日 16:30～18:00)

■場所 名古屋「MARUWA スタジオ」

■参加料 (定員各クラス20名)
6日間 30,000円

■予定講師 ファン・オガジャ

■問合せ
公益財団法人スペイン舞踊振興 MARUWA 財団
Tel. 03-5419-6513 info@mwfor.jp

第7回 CAF フラメンコ・コンクール

第7回 CAF フラメンコ・コンクールの申込み受付がいよいよ9月より始まります。

今回の日程は、予選が2013年2月2日(土)と3日(日)の2日間、本選が2月23日(土)です。

参加費、参加資格等は前回と同様ですが、昨今の経済・為替事情やこれまでの入賞者の方々からのご意見等を鑑み、賞金体系及び金額については若干の改定をおこないました。

各人の事情や希望に応じた、より自由度の高い留学形態をサポートするため、留学先や滞在期間が限定されてしまう奨励賞は今回より廃止し、代わりに、これまで賞金のみだった第3位入賞者に対し、賞金+スペイン往復航空券を授与することとなりました。これに伴い、第3位入賞者にも、協賛のガジャルドダンス社からオーダーシューズが進呈されます。その他、各賞の賞金額や特典等、詳細につきましては財団 HP をご覧ください。

コンクールの募集要項は右記のとおりです。皆さん、どうぞ奮ってご参加ください！

第7回 CAF フラメンコ・コンクール募集要項

■日時 予選 2013年2月2日(土) 13:30～
2月3日(日) 13:30～
本選 2013年2月23日(土) 15:00～

■会場 北千住 Theatre1010 (シアターセンジュ)
※予選・本選共に同会場

■入場料 予選 /2,000円 (全自由席)
本選 /3,000円 (全指定席)

■応募資格 スペインでフラメンコ研修を希望の
35歳以下の方 (2013年3月31日現在)
※過去優勝者は参加不可です。

■応募受付期間 2012年9月1日～9月30日 (必着)

■参加費 2万円

■チケット取扱・問合せ
公益財団法人スペイン舞踊振興 MARUWA 財団
Tel. 03-5419-6513 URL <http://www.mwfor.jp/>

事務局便り

今回より事務局便りを書くことになりました、新米事務局長の宮下です。どうぞよろしくお願いします。

スタジオ・オープニング前日に全ての改修工事が終わり、MARUWA ビル1・2階は、携わってくださった方々のこだわりが感じられる空間となりました。

財団事務局としては、スタジオ“CASA DEL ARTE”が皆さんにとって親しみ深い場所になってもらえる事を願っています。是非、気軽に見学にいらして頂けると嬉しいです。

念願だったスタジオで初めて開催したワークショップは、床の新しい木の香りに包まれ、参加した

皆さんからいろいろなご意見を聞く事が出来ました。

近い将来、舞踊クラス、カンテ・クラス、ギター・クラス、それぞれ同じ曲目(ヌメロ)で振付をして、最後に全員で1曲を完成させるような、そんな企画が出来れば素敵だろうなと思っています。(宮下)